

<同時発表>

国土交通省総合政策局公共事業企画調整課  
大臣官房公共事業調査室

九州地方整備局  
令和3年11月26日

## 令和3年度「<sup>ふるさと</sup>手づくり郷土賞」が選定されました！

■ 地域づくりの優れた取組を表彰する「<sup>ふるさと</sup>手づくり郷土賞」に全国で13件、うち九州から **4件（一般部門4件）** が選定されました。

○全国応募総数30件（一般部門：27件、大賞部門：3件）

○全国選定総数13件（一般部門：12件、大賞部門：1件）

■ 認定証伝達式について

例年1月～3月に、受賞したそれぞれの地域において、国土交通大臣認定証の伝達式を行います。開催日程が決まりましたら、改めてお知らせします。

### 【九州の選定団体】

#### 一般部門

地域の魅力や個性を創出している、<sup>ふるさと</sup>社会資本及びそれと関わりのある地域活動が一体となった成果。

- ・ 駒鳴集落を守る会（佐賀県）
- ・ 鹿島市ラムサール条約推進協議会（佐賀県）
- ・ 小浜温泉57（長崎県）
- ・ 一般社団法人みなみあそ観光局（熊本県）

#### ※手づくり郷土賞とは

「手づくり郷土賞」は昭和61年度に創設され、令和3年度で36回目の開催となる国土交通大臣表彰です。

地域づくり活動によって地域の魅力や個性を生み出している良質な社会資本とそれに関わった団体のご努力を表彰するものです。また、これらの好事例を広く紹介することで、各地で構成的で魅力ある郷土づくりに向けた取組が一層推進されることを目指しています。

【国土交通省HP】 [https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo03\\_hh\\_000263.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo03_hh_000263.html)

<問い合わせ先>

九州地方整備局 企画部企画課

課長補佐 藤木 敏治（内線：3155）

TEL：092-471-6331（代表）、092-476-3542（直通）

## 令和3年度 手づくり郷土賞 選定結果

## &lt;一般部門：12件&gt;

No	都道府県	市区町村	応募案件名	応募者	
				地域活動団体	社会資本管理団体
1	北海道	利尻町	”資源蘇生”未利用資源を活かした地域づくり ～海藻アートの独自文化と子どもたちへの継承～	NPO法人利尻ふる里・島づくりセンター	—
2	長野県	安曇野市	絶滅危惧種の地域への拡大を目指して ～オオルリジミを市民の手で郷土に復活～	岩原の自然と文化を守り育てる会	—
3	静岡県	川根本町	接岨湖(長島ダム湖)で町を元気に!	一般社団法人 エコティかわね	—
4	長野県	飯田市	天竜川総合学習館発「川に親しむ河童人づくり」 ～水辺空間を多様な体験学習に活用～	天竜川総合学習館 かわらんべ	中部地方整備局 天竜川上流河川事務所
5	京都府	亀岡市	京都・亀岡 ～保津川のプラごみをなくそう～	川と海つながり共創プロジェクト	—
6	京都府	向日市	「竹の径」に倣え「藪の径」景観づくり ～市民による手づくり郷土ランドスケープ～	藪の傍	—
7	兵庫県	姫路市	姫路城中曲輪バタフライガーデン創造事業 ～SDGsの理念の実現と学校を核とした郷土づくり～	白鷺学校運営協議会	—
8	島根県	邑南町	三江線鉄道公園 ～鉄道遺産を活かした「まちづくり」・「インフラツーリズム」の取組～	特定非営利活動法人 江の川鐵道	邑南町
9	佐賀県	伊万里市	水辺施設「ウォーターフロントこまなき」 ～自然との共生と利活用～	駒鳴集落を守る会	—
10	佐賀県	鹿島市	森里川海干潟をつなぐまちづくり ～有明海再生に向けて～	鹿島市ラムサール条約推進協議会	鹿島市
11	長崎県	雲仙市	ジャカランダで子供達が誇れるふるさとづくり	小浜温泉57	—
12	熊本県	南阿蘇村	南阿蘇・立野ダムインフラツーリズムの実践 ～地元密着・自立運営型での商品開発と運営～	一般社団法人みなみあそ観光局	—

## &lt;大賞部門：1件&gt;

No	都道府県	市区町村	応募案件名	応募者	
				地域活動団体	社会資本管理団体
1	北海道	美幌町	手づくり魚道の完成が出发点! ～SDGs時代の川との付き合い方～	駒生川に魚道をつくる会	—

No. 9 (佐賀県・伊万里市)  
水辺施設「ウォーターフロントこまなき」  
～自然との共生と利活用～



<活動内容>  
駒鳴付近で大きく蛇行している松浦川は、捷水路が平成16年度に完成。「自然との共生」をモットーに旧河川の自然環境保護及び利活用を図るため、地元住民で「駒鳴集落を守る会」を立ち上げ。「ウォーターフロントこまなき」は、かわまちづくり事業として整備され、平成28年5月に完成し、水辺とふれあえる場の整備から、「環境学習」「自然体験活動」「地域住民による美化活動」等を実施することにより住民の郷土理解を更に深め、少子高齢化が進んでいる駒鳴地区のまちおこし・活性化を目指し活動を行っている。

<地域活動団体>  
駒鳴集落を守る会

No. 10 (佐賀県・鹿島市)  
森里川海干潟をつなぐまちづくり  
～有明海再生に向けて～



<活動内容>  
平成27年5月に「肥前鹿島干潟」がラムサール条約登録湿地となり、干潟を支えている鹿島市の自然保全、啓発、利活用を図る目的で活動しており、環境教育(市内全小学校でプログラム化し、野鳥観察では干潟案内人が説明)を実施し、海岸堤防を活用した健康づくり[肥前鹿島干潟リレーマラソン大会(約1,000人参加)、スポーツゴミ拾い大会(150人参加)]など鹿島市の自然に対する清掃活動や自然景観の向上、子供たちへの環境教育など、自由で多様な市民活動を年間を通じて他団体とともにやっている。

<地域活動団体>  
鹿島市ラムサール条約推進協議会

No. 11 (長崎県・雲仙市)  
ジャカランダで子供達が誇れるふるさとづくり



<活動内容>  
平成18年より「小浜温泉57」を立ち上げ、国道57号を含む小浜温泉街周辺において道路環境美化活動を開始。ジャカランダを活かした地域活性化の活動として、「ジャカランダ通り」の街路樹にジャカランダを平成21年より植樹し管理。現在では約500本のジャカランダが育っており、花が咲く6月のジャカランダフェスタに約1万人がジャカランダを目当てに訪れる。また、地元小学校の児童に種から苗を育てる体験を行い、卒業記念植樹でジャカランダを植え、故郷には自慢できるものがあると思ってもらうように活動。

<地域活動団体>  
小浜温泉57

No. 12 (熊本県・南阿蘇村)  
南阿蘇・立野ダムインフラツーリズムの実践  
～地元密着・自立運営型での商品開発と運営～



<活動内容>  
2019年より地域住民から「立野ダムガイド」の研修・育成を実施し11名を認定。立野ダムガイドと一緒にJTBやクラブツーリズムなどと連携したツアー商品を開発している。教育旅行の一環として立野ダムと熊本地震震災遺構から地震と水災害への防災を学ぶツアープログラムを実施しており、これまでに15回以上(累計1,000名)の企画・ツアー催行を実施。その他、立野ダムのPRを行うためのリーフレットの作成・配布を行い、立野ダムの意義を学んでもらうための「白川・阿蘇・立野スタンプラリー」などもやっている。

<地域活動団体>  
一般社団法人みなみあそ観光局

## ◆手づくり郷土賞の概要

地域の個性・魅力を創出し、良質な社会資本及びそれと関わりをもつ優れた地域活動を広く募集・発掘し、これらを全国に広く紹介することにより、個性あふれ活力ある郷土づくりに資することを目的として、昭和61年度に創設された国土交通大臣表彰制度。令和3年度で36回目。

### 【一般部門】

はじめて受賞する団体を対象とした部門

### 【大賞部門】

過去に受賞した団体で、その後の活動が発展している団体を対象とした部門

(参考)手づくり郷土賞の過去の受賞案件は以下のURLに掲載しています。  
<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/teдукuri/>

## ◆手づくり郷土賞選定委員会

有識者からなる手づくり郷土賞選定委員会により、幅広い観点から審査し選定します。

### 手づくり郷土賞選定委員会（令和3年度）

委員長	秋田 典子	千葉大学大学院園芸学研究院 教授
委員	河野 まゆ子	株式会社JTB総合研究所 主席研究員
委員	斉藤 俊幸	地域再生マネージャー
委員	坂元 英俊	一般社団法人 地域観光研究所 代表理事
委員	真田 純子	東京工業大学 准教授
委員	野澤 康	工学院大学 副学長

(敬称略)